

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【公開番号】特開 2019-209049 (P2019-209049A)

【公開日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2018-110381 (P2018-110381)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 6 日 (2020.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

始動条件の成立を契機とした大当り抽選に当選したことを条件として、大入賞口を開放する特別遊技を付与する遊技機において、

設定情報に関する制御を行うことが可能に構成された設定制御手段と、

所定の操作を可能に構成された設定操作手段と、

所定の報知を可能に構成された特定報知手段と、を備え、

前記大当り抽選には、設定されている設定情報に応じた当選確率で当選し、

前記設定情報に関する制御を行う設定制御状態には、

前記設定情報を設定可能な設定変更状態と、設定されている設定情報を確認できるように設定報知手段を制御する設定確認状態と、があり、

前記設定変更状態への移行条件、及び、前記設定確認状態への移行条件には、前記設定操作手段の所定態様操作が含まれており、

前記設定変更状態及び前記設定確認状態とは異なる制御状態として、前記大当り抽選に基づいた変動ゲームを実行可能な通常制御状態があり、

前記通常制御状態への移行形態には、前記設定変更状態を経由して前記通常制御状態へ移行する設定変更経由形態と、前記設定確認状態を経由して前記通常制御状態へ移行する設定確認経由形態と、があり、

前記特定報知手段では、前記通常制御状態へ移行したことを特定可能な移行報知を実行可能であり、

前記移行報知は、前記設定変更経由形態のときと前記設定確認経由形態のときとで報知態様が異なる遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決する遊技機は、始動条件の成立を契機とした大当り抽選に当選したことを条件として、大入賞口を開放する特別遊技を付与する遊技機において、設定情報に関する

る制御を行うことが可能に構成された設定制御手段と、所定の操作を可能に構成された設定操作手段と、所定の報知を可能に構成された特定報知手段と、を備え、前記大当り抽選には、設定されている設定情報に応じた当選確率で当選し、前記設定情報に関する制御を行う設定制御状態には、前記設定情報を設定可能な設定変更状態と、設定されている設定情報を確認できるように設定報知手段を制御する設定確認状態と、があり、前記設定変更状態への移行条件、及び、前記設定確認状態への移行条件には、前記設定操作手段の所定状態様操作が含まれており、前記設定変更状態及び前記設定確認状態とは異なる制御状態として、前記大当り抽選に基づいた変動ゲームを実行可能な通常制御状態があり、前記通常制御状態への移行形態には、前記設定変更状態を経由して前記通常制御状態へ移行する設定変更経由形態と、前記設定確認状態を経由して前記通常制御状態へ移行する設定確認経由形態と、があり、前記特定報知手段では、前記通常制御状態へ移行したことを特定可能な移行報知を実行可能であり、前記移行報知は、前記設定変更経由形態のときと前記設定確認経由形態のときとで報知態様が異なることを要旨とする。